

(1) 上町台地

◆視点場と視対象の関係

一般的に平坦な地形である本市において、上町台地では起伏による景観形成が見られる一帯となっている。

緑の崖線

夕陽丘の寺町では、建築物が比較的
低層であるため、崖
線の緑の帯を臨むこ
とができる。



みおろす眺望

場所は限られるものの、台
地上から阿倍野等の市街地を
俯瞰することのできる視点場
がある。



立体感のあるまちなみ

台地であるため、その縁
辺部では坂が多く、立体感
のある独特の景観を形成す
る。



(2) 大川・中之島

◆視点場と視対象の関係

大川・中之島は市街地内において、水面や水際の公園等の豊かなオープンスペースの存在が特徴であり、多様な視点場と視対象の関係が成り立っている。



視点場と視対象のイメージ

水面に映えるまちなみ

中之島公園から対岸の建築物を見る場合、基本的に遮蔽する
ものがないため、建築物のファサード全体が見渡せる。

【想定される阻害要因の例】

- ・川側に背を向けた建物



相互に見る・見られる関係

視対象となる建築物と比較的距離が離れ、高さ（スカイライ
ン）等に注目し、細部は気にならなくなる。特に高層のものは
ランドマークとなる。



橋上からの見通し

景観特性①と同様、建築物のファサードが低層部から高層部
まで見える視点場である。



水辺を活かした夜間景観

近年、橋梁のライトアップを初め、民間の建築物においても照明による演出がされるなど、水辺独自の夜間景観が形成されている。



川との親密感

橋詰からは、河川沿いの建築物の低層部を近景としてみる事が出来る。川床が設置されているところでは賑わいを生み出している。



【想定される阻害要因の例】 ・川側に背を向けた建物

まとまりのあるシルエット

対岸や橋梁からみられる建物群が‘まとまり’感を持って水際に形成されている。建物前面の河川により、まちなみの連なりが強調され、中・遠景の建物外観が展望できる特徴を持っている。



(3) 臨海部

◆視点場と視対象の関係

本市における臨海部は入り組んだ形状となっており、海面をはさみ対岸のまちなみを臨むことができる。また、規模の大きい建築物が多く遠景となっても視認が容易である。

海辺のランドマーク

河川河口付近や埋め立て地が入り組む臨海地形は、対岸のまちなみへの眺望が特徴的であり、高層建物群が中遠景の景観要素となっている。また、広大な港湾景観の中にランドマークとなる橋梁や大規模建築物が点在するスケール感の大きな景観が特徴となっている。



港町のかおり

商店街や住宅地などでは、親しみの感じられる一般的な界隈が広がるが、レンガ倉庫など港湾関係の建築物や歴史的な趣のある建築物が点在しており、まちなみのアクセントとなっている。



(4) 広幅員街路（美観誘導路線）

◆中・遠景の視点場と視対象

広幅員街路においては、主に歩道上が視点場となり、対岸建築物の中高層部、スカイライン、広告物、街路樹等が主要な視対象となる。これらの関係で中・遠景が構成される。また、通りの印象は道路の幅員と建築物の高さに大きく影響を受ける。



◆近景の視点場と視対象

中・遠景と同様に、主に歩道上が視点場となるが、近景を構成する主要な視対象は視点場となる歩道に面した建築物の低層部や広告物等が中心となる。



《国道2号》

開けた印象

大規模な建築物と小規模な建築物が混在しており、建築物の合間が多く、また、比較的道路幅員も広いため、街路景観のまとまりではなく、開けた印象を受ける。



にぎわいのまちなみ

小規模な建築物多い箇所では、広告物が目立ち雑然としているがにぎやかな印象を受ける。

【想定される阻害要素の例】

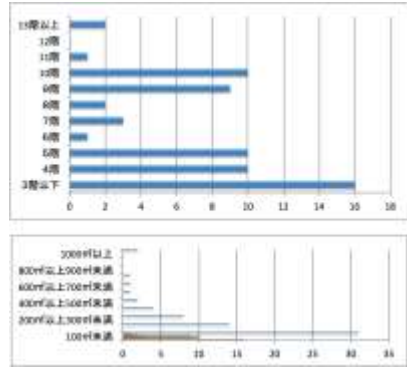
- ・通りに対して閉ざされた低層部



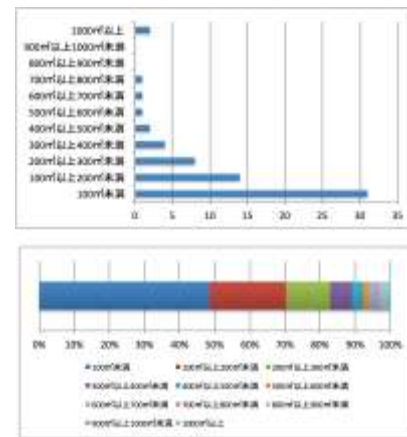
●沿道建物の概況

(四ツ橋筋以西)

・沿道建物の階数分布

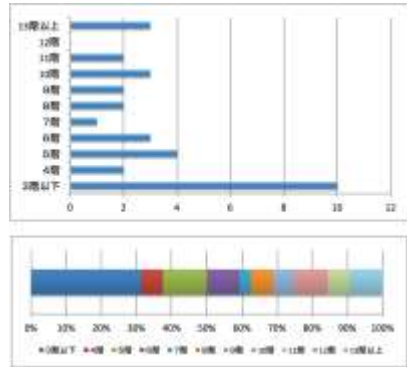


・沿道建物の建築面積分布

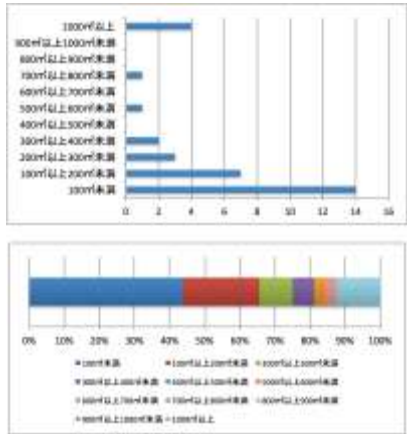


(四ツ橋筋以東)

・沿道建物の階数分布



・沿道建物の建築面積分布



《堺筋》

堺筋は、長堀通を境とした南北で敷地や用途等の特性が異なるため、その景観特性も異なる。

（長堀通以北）

連続する壁面

整ったスカイライン

通りの見通し

建築物の整ったスカイラインや落ち着いた色彩を用いた外壁の連続により、統一感のあるまちなみとなっている。また、街路樹が連続することで、奥行きを感じられる構成となっている。

①整った建築物のスカイライン



②落ち着いた色彩の建築物



【想定される阻害要因の例】 ・突出したスカイラインやファサードの建物

にぎわいのまちなみ

歩行者空間のゆとり

街路樹が豊かであるが、歩道が狭いため、込み入った印象を受ける箇所もある。一方、壁面後退が連続する箇所については、すっきりとしており、ショーウインド等によりにぎわいも感じられる。

①狭い印象の歩行者空間



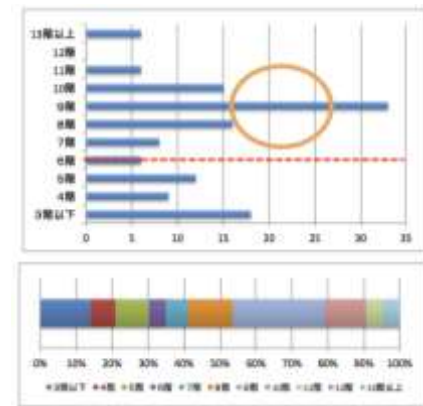
②歩行者空間に配慮された低層部



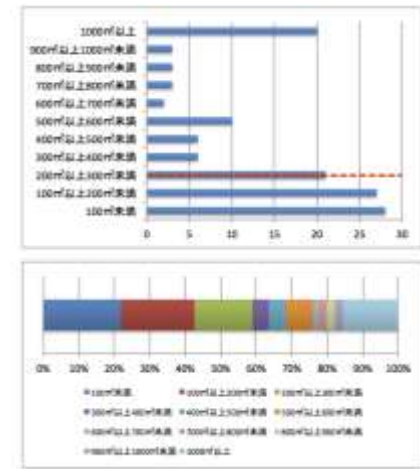
【想定される阻害要因の例】 ・通りに対して閉ざされた建物

○沿道建物の概況

・沿道建物の階数分布



・沿道建物の建築面積分布



（長堀通以南）

開けた印象

まちなみとしては、統一感に欠け、目立つ広告物も多く、雑然とした印象を受ける。高層の建築物が少ないため、街路景観のまとまりではなく、開けた印象もある。

①開けた印象の街路



②屋上広告等が目立つ



にぎわいのまちなみ

突出看板など広告物が卓越し、店舗等の用途が多くにぎやかな印象のまちなみとなっている。

①卓越した広告物



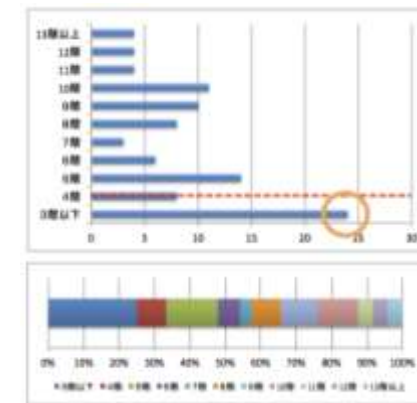
②1階の店舗利用が多い



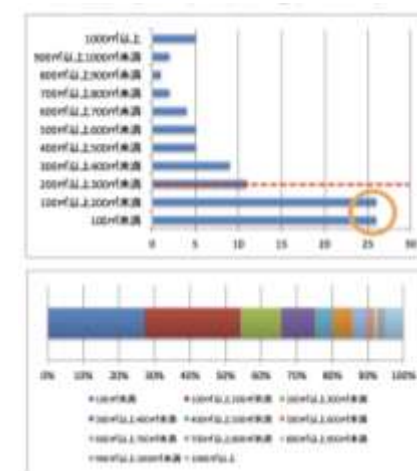
【想定される阻害要因の例】 ・無秩序な広告物

○沿道建物の概況

・沿道建物の階数分布



・沿道建物の建築面積分布



《御堂筋》

土佐堀通、長堀通などで分節する各区分において、敷地や用途等の特性が異なるため、その景観特性も異なる。

(土佐堀通以北)

開けた印象

閉じた視線

大規模な建築物にと小規模な建築物が混在しており、バラツキが感じられ、道路幅員が大きく、街路としての印象が感じられない。また、道路が湾曲しており、大規模な建築物がアイストッパやランドマークとしての役割を果たしている。

①開けたまちなみ



②大規模と小規模の混在



③アイストッパのなる建築物



にぎわいのまちなみ

歩行者空間のゆとり

西（北新地）側の建築物は1階が店舗等となっており、また、広告物も卓越しているためにぎやかな印象を受ける。一方、東側のセットバック空間はやや整然とした印象で、歩きやすくなっている。

①にぎわいのある西側



②やや整然とした東側



【想定される阻害要因の例】 ・通りに対して閉ざされた建物

(土佐堀通～長堀通) ※地区計画・デザインガイドライン適用区域

連続する壁面

整ったスカイライン

整った軒線により、連続感・統一感のあるまちなみとなっている。また、全体的に調和した色彩により、落ち着いた・風格のある印象を受ける。

①整った軒線



②落ち着いた印象の外壁



にぎわいのまちなみ

たまりの空間

敷地のみどり

1階部分は店舗等となっているものが多く、その他の用途でも透過性のある設えとなっているなど、にぎわいの感じられるまちなみとなっている。大規模な建築物については壁面後退が図られている箇所が多くゆとりのある空間となっている。

①にぎわいのある低層部の設え



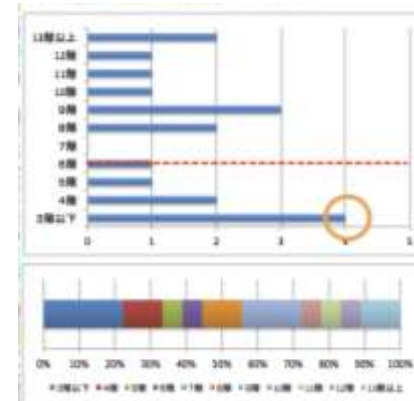
②ゆとりのあるセットバック空間



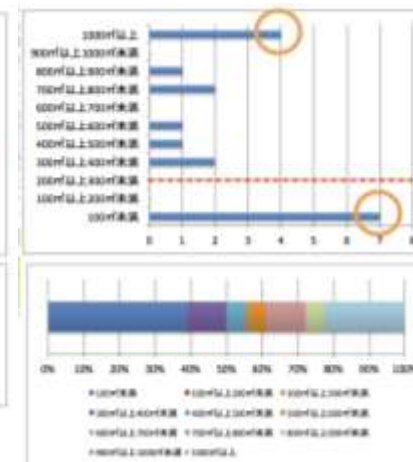
○沿道建物の概況

(土佐堀通以北)

・沿道建物の階数分布

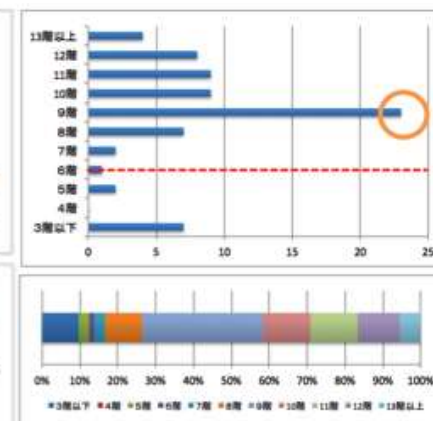


・沿道建物の建築面積分布



(土佐堀通～長堀通)

・沿道建物の階数分布



・沿道建物の建築面積分布

